

平成22年12月21日
大臣官房統計情報部社会統計課縦断調査室
室長 市川 隆之
室長補佐 吉川 英樹
(担当・内線) 中高年者調査係(内線 7594)
(電話代表) 03-5253-1111
(ダイヤルイン) 03-3595-2323

第5回中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）

結果の概況

目	次
調査の概要	1 頁
結果の概要	3
1 家族の状況	3
(1) 配偶者及び同居者の状況	3
(2) 介護をしている状況と健康状態、就業状況の変化	5
2 健康の状況	6
3 就業の状況	8
(1) 就業状況の変化	8
(2) 離職の状況	9
(3) 就業希望と求職の状況	10
4 「60～63歳」の者の生活の状況	11
(1) 収入の状況	11
(2) 公的年金受給の状況と仕事の状況	12
(3) 社会参加活動の変化	13
(4) 60歳以降の仕事と生活のまかない方	14
参 考	16
用語の定義	18

第5回中高年者縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html>)

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、団塊の世代を含む全国の中老年者世代の 50～59 歳の男女を追跡して、その『健康・就業・社会活動』について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画、実施のための基礎資料を得ることを目的として、平成 17 年度を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成 17 年 10 月末現在で 50～59 歳である全国の男女を対象とし、そのうち、第 3 回調査又は第 4 回調査において協力を得られた者を客体とした。

第 5 回調査における対象者の年齢は、54～63 歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年 1 回（11 月の第一水曜日）

調査の期日 第 5 回調査 平成 21 年 11 月 4 日（水）

4 調査の事項

家族の状況、健康の状況、就業の状況（資格、能力開発を含む。）、住居・家計の状況 等

5 調査の方法

(1) あらかじめ調査員が配付した調査票に被調査者が自ら記入し、後日、密封方式により調査員が回収する方法により行った。

(2) 第 1 回調査以降に転出した者は、厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

6 調査の系統

(1) 厚生労働省 ―― 都道府県 ―― 保健所 ―― 調査員 ―― 被調査者
└─ 保健所設置市 ―─┘
 特 別 区

(2) 厚生労働省 ―― 被調査者
 郵送

7 結果の集計及び集計客体

(1) 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

(2) 調査客体数等

調査客体数、回収客体数は以下のとおりである。

	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回調査	40,877	34,240	83.8%
第2回調査	35,007	32,285	92.2%
第3回調査	32,195	30,730	95.4%
第4回調査	30,773	29,605	96.2%
第5回調査	29,548	28,736	97.3%

(3) 集計客体数

本概況では、第1回調査から第5回調査まで集計可能である27,591を集計客体とした。

8 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(3) この概況の掲載の数値には、統計数が僅少のため利用する際に注意が必要なものが含まれる。

結果の概要

1 家族の状況

(1) 配偶者及び同居者の状況

「親なし子ありの世帯」から「夫婦のみの世帯」に変化した割合が21.5%

「三世帯世帯」から「親なし子ありの世帯」に変化した割合が14.6%、「親あり子なしの世帯」に変化した割合が12.4%

第1回調査から第5回調査までの同居者の構成をみると、「夫婦のみの世帯」は第1回 20.5%から第5回 28.4%と増加しており、「親なし子ありの世帯」は第1回 39.2%から第5回 33.4%、「三世帯世帯」は第1回 22.8%から第5回 18.9%と減少している(図1)。

第1回から第5回で、同居者の構成がどのように変化したかをみると、「夫婦のみの世帯」から「親なし子ありの世帯」に変化した割合は 10.2%となっている。「三世帯世帯」から「親なし子ありの世帯」に変化した割合が 14.6%、「親あり子なしの世帯」に変化した割合が 12.4%となっている。

「親あり子なしの世帯」から「夫婦のみの世帯」に変化した割合は 13.3%となっており、「親なし子ありの世帯」から「夫婦のみの世帯」に変化した割合は 21.5%となっている。(表1)

図1 第1回調査から第5回調査までの同居者の構成

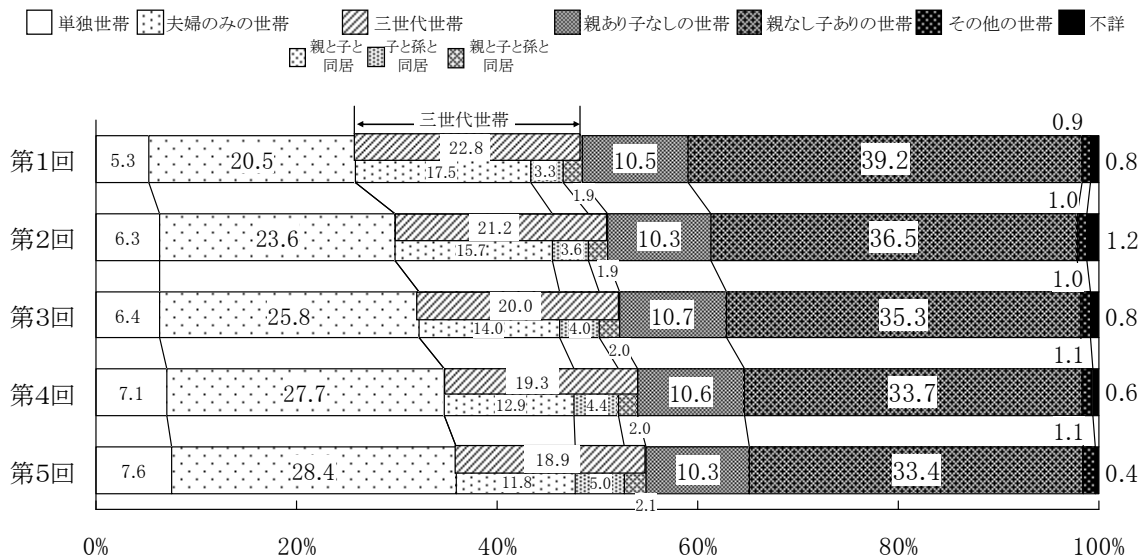


表1 同居者の構成の変化

(単位: %)

		第5回の同居者の構成							
		総数	単独世帯	夫婦のみの世帯	三世帯世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯	
第1回の同居者の構成	総数	(100.0)	100.0	7.6	28.4	18.9	10.3	33.4	1.1
	単独世帯	(5.3)	100.0	79.1	5.2	2.8	3.1	7.4	2.0
	夫婦のみの世帯	(20.5)	100.0	2.8	78.8	4.7	2.2	10.2	0.4
	三世帯世帯	(22.8)	100.0	1.2	7.6	63.7	12.4	14.6	0.4
	親あり子なしの世帯	(10.5)	100.0	8.4	13.3	11.4	62.1	2.7	1.9
	親なし子ありの世帯	(39.2)	100.0	3.1	21.5	5.1	0.6	69.1	0.3
	その他の世帯	(0.9)	100.0	14.7	13.9	3.6	4.0	5.6	57.8

注: 総数には第1回及び第5回の同居者の構成の不詳を含む。

第1回調査時に配偶者がいる者のうち、第5回調査でも配偶者がいる割合は 97.4%

配偶者の有無について、第1回調査と第5回調査の変化をみると、第1回及び第5回で「配偶者あり」は 97.4%となっており、第1回「配偶者なし」で第5回「配偶者あり」は 6.1%、第1回「配偶者あり」で第5回「配偶者なし」は 2.3%となっている。

年齢階級別にみると、第1回「配偶者なし」で第5回「配偶者あり」は「54～59歳」の方が高くなっている。

男女別にみると、第1回「配偶者なし」で第5回「配偶者あり」は男の方が高く、第1回「配偶者あり」で第5回「配偶者なし」は女の方が高くなっている。(表2)

表2 配偶者の状況の変化

(単位:%)

		第5回の配偶者の有無			
		総数	配偶者あり	配偶者なし	
性、 年齢階級、 第1 回 の 配 偶 者 の 有 無	総数	(100.0)	100.0	85.5	14.2
	配偶者あり	(86.9)	100.0	97.4	2.3
	配偶者なし	(13.0)	100.0	6.1	93.5
	54～59歳	(100.0)	100.0	85.9	13.9
	配偶者あり	(86.9)	100.0	97.8	2.0
	配偶者なし	(13.0)	100.0	6.7	93.1
	60～63歳	(100.0)	100.0	84.8	14.7
	配偶者あり	(86.7)	100.0	96.9	2.6
	配偶者なし	(13.1)	100.0	5.4	94.1
	男	(100.0)	100.0	87.3	12.4
	配偶者あり	(88.0)	100.0	98.3	1.5
	配偶者なし	(11.8)	100.0	6.5	93.2
	54～59歳	(100.0)	100.0	86.4	13.3
	配偶者あり	(86.9)	100.0	98.4	1.4
	配偶者なし	(13.0)	100.0	7.1	92.6
	60～63歳	(100.0)	100.0	88.5	11.3
	配偶者あり	(89.5)	100.0	98.2	1.7
	配偶者なし	(10.3)	100.0	5.7	94.0
女	(100.0)	100.0	83.7	15.9	
配偶者あり	(85.8)	100.0	96.6	3.0	
配偶者なし	(14.1)	100.0	5.8	93.8	
54～59歳	(100.0)	100.0	85.5	14.3	
配偶者あり	(87.0)	100.0	97.3	2.5	
配偶者なし	(12.9)	100.0	6.3	93.5	
60～63歳	(100.0)	100.0	81.4	17.9	
配偶者あり	(84.2)	100.0	95.7	3.6	
配偶者なし	(15.7)	100.0	5.2	94.2	

注:総数には第1回及び第5回の配偶者の有無の不詳を含む。

(2) 介護をしている状況と健康状態、就業状況の変化

第1回調査以降に健康状態が「わるい」に変化した割合は、介護を「している」に変化した者で高い

第1回調査からの介護をしている状況の変化をみると、「第1回から介護をしている」2.0%、「介護を「していない」から「している」に変化」6.4%、「介護を「している」から「していない」に変化」3.2%、「第1回から介護をしていない」56.5%となっている。

第1回からの健康状態の変化を、第1回からの介護をしている状況の変化別にみると、健康状態が「よい」から「わるい」に変化した割合は、「介護を「していない」から「している」に変化」した者で 8.9%と高くなっている。(表3)

表3 第1回調査からの介護をしている状況の変化別にみた第1回調査からの健康状態の変化

(単位:%)

		第1回からの健康状態の変化					
		総数	第1回からずっと「よい」	「わるい」から「よい」に変化	第1回からずっと「わるい」	「よい」から「わるい」に変化	その他の変化
し第1回 から 状況の 介護を 変化する	総数	(100.0) 100.0	60.6	5.9	5.1	6.8	17.7
	第1回から介護をしている	(2.0) 100.0	57.6	5.7	6.7	6.7	21.1
	介護を「していない」から「している」に変化	(6.4) 100.0	59.2	5.3	5.4	8.9	18.6
	介護を「している」から「していない」に変化	(3.2) 100.0	56.4	8.0	6.1	7.9	18.2
	第1回から介護をしていない	(56.5) 100.0	63.4	5.5	4.6	6.3	17.0
	その他	(9.8) 100.0	56.6	6.0	6.1	7.7	19.3

注:総数には第1回からの介護をしている状況の変化及び第1回からの健康状態の変化の不詳を含む。

第1回調査以降に「退職」した割合は、第1回調査以降に介護を「している」に変化した者で高い

第1回調査からの就業状況の変化を、第1回からの介護をしている状況の変化別にみると、「退職」(第1回に仕事をしていて、第5回までに仕事をしていない状態に変化)した割合は、「介護を「していない」から「している」に変化」した者で 14.4%と高くなっている。また、「就業」(第1回に仕事をしておらず、第5回までに仕事をしている状態に変化)した割合は、「介護を「している」から「していない」に変化」した者で 4.3%と高くなっている。(表4)

表4 第1回調査からの介護をしている状況の変化別にみた第1回調査からの就業状況の変化

(単位:%)

		第1回からの就業状況の変化						
		総数	第1回から仕事あり	就業	退職	(再掲)第5回に退職	第1回から仕事なし	その他
し第1回 から 状況の 介護を 変化する	総数	(100.0) 100.0	64.9	3.0	11.2	4.8	13.3	7.5
	第1回から介護をしている	(2.0) 100.0	48.4	2.5	12.8	4.4	28.4	8.0
	介護を「していない」から「している」に変化	(6.4) 100.0	59.2	2.6	14.4	5.8	15.6	8.0
	介護を「している」から「していない」に変化	(3.2) 100.0	56.8	4.3	10.9	3.8	21.6	6.4
	第1回から介護をしていない	(56.5) 100.0	68.0	2.7	10.5	4.7	11.9	6.9
	その他	(9.8) 100.0	61.9	3.4	12.6	5.4	14.4	7.7

注:総数には第1回からの介護をしている状況の変化及び第1回からの就業状況の変化の不詳を含む。

2 健康の状況

「運動「している」から「していない」に変化」した者に比べて、「運動「していない」から「している」に変化」した方が、神経過敏等6項目について感じた割合が低い

第1回調査からの運動状況の変化別に、第5回調査の過去1か月間に神経過敏等6項目について感じた割合をみると、「運動「している」から「していない」に変化」した者に比べて、「運動「していない」から「している」に変化」した方が、神経過敏等6項目について感じた割合が低くなっている。(表5)

表5 第1回調査からの運動状況の変化別にみた第5回調査の過去1か月間に感じたこと

(単位:%)

		第5回の過去1か月間に感じたこと							
		総数		神経過敏に感じましたか		絶望的だと感じましたか		そろそろ、落ち着かなく感じましたか	
				あり	まったく ない	あり	まったく ない	あり	まったく ない
運動1 状況 から 変化	総数	(100.0)	100.0	47.0	50.0	25.2	72.1	35.6	61.3
	第1回から運動している	(31.4)	100.0	47.6	50.6	20.7	77.7	35.4	62.8
	運動「していない」から「している」に変化	(11.2)	100.0	47.8	50.2	26.0	72.3	36.6	61.1
	運動「している」から「していない」に変化	(6.6)	100.0	50.3	48.0	28.5	69.9	37.3	61.1
	第1回から運動していない	(17.5)	100.0	45.3	52.7	29.3	68.9	34.9	62.9
	その他	(22.6)	100.0	48.5	49.5	25.8	72.4	36.9	60.8

		第5回の過去1か月間に感じたこと							
		総数		気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか		何をすることも骨折りだと感じましたか		自分は価値のない人間だと感じましたか	
				あり	まったく ない	あり	まったく ない	あり	まったく ない
運動1 状況 から 変化	総数	(100.0)	100.0	42.2	55.1	43.2	54.0	24.2	73.0
	第1回から運動している	(31.4)	100.0	40.2	58.2	40.8	57.7	20.7	77.8
	運動「していない」から「している」に変化	(11.2)	100.0	42.6	55.7	44.3	53.8	23.9	74.3
	運動「している」から「していない」に変化	(6.6)	100.0	45.6	52.9	47.4	50.8	25.9	72.7
	第1回から運動していない	(17.5)	100.0	42.8	55.4	45.9	52.1	27.3	71.0
	その他	(22.6)	100.0	44.3	53.8	44.5	53.6	25.1	73.0

注: 1) 第5回の過去1か月間に感じたこと「あり」とは、各項目について「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」と回答した者をいう。

2) 総数には第1回からの運動状況の変化及び第5回の過去1か月間に感じたことの不詳を含む。

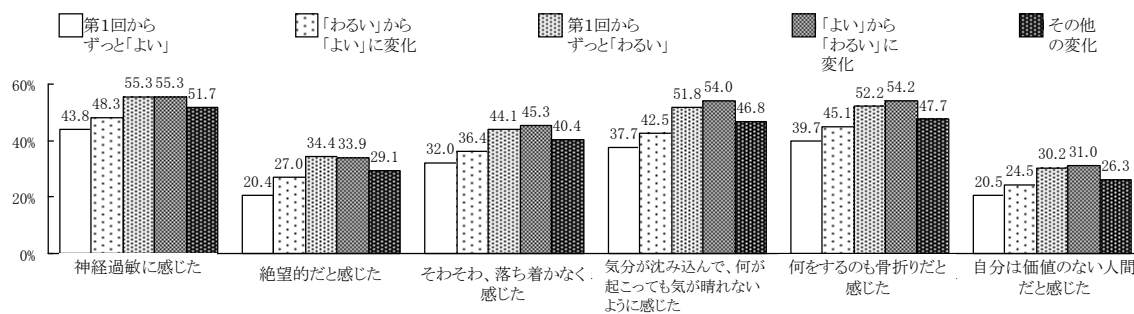
3) ()内を除く数値は、「第1回からの運動状況の変化」ごとの総数を100とした割合である。

配偶者の健康状態の変化が「第1回からずっと「わるい」、「よい」から「わるい」に変化」の場合に、神経過敏等6項目について「感じた」割合が高い傾向

第1回調査からの配偶者の健康状態の変化別に、第5回調査の過去1か月間に神経過敏等6項目について感じたことをみると、配偶者の健康状態の変化が「第1回からずっと「わるい」、「よい」から「わるい」に変化」の場合に、神経過敏等6項目について「感じた」割合が高い傾向にある。

また、配偶者の健康状態の変化が「第1回からずっと「わるい」、「よい」から「わるい」に変化」の場合を比較すると、「よい」から「わるい」に変化」の方が、神経過敏等6項目について「感じた」割合がおおむね高くなっている。(図2、表6)

図2 第1回調査からの配偶者の健康状態の変化別にみた第5回調査の過去1か月間に感じたこと



注: 1) 第1回から第5回まで配偶者のいる、第5回の過去1か月間に感じたことの各項目について「あり」と回答した者を集計。
 2) 過去1か月間に感じたこと「あり」とは、各項目について「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」と回答した者をいう。
 3) 「第1回からの配偶者の健康状態の変化」ごとの総数を100とした割合である。

表6 性、第1回調査からの配偶者の健康状態の変化別にみた第5回調査の過去1か月間に感じたこと

		第1回からの配偶者の健康状態の変化 (単位: %)						
		総数	第1回からずっと「よい」	「わるい」から「よい」に変化	第1回からずっと「わるい」	「よい」から「わるい」に変化	その他の変化	
性、第5回の過去1か月間に感じたこと	男	(100.0)	(50.4)	(4.1)	(3.5)	(5.3)	(14.1)	
	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	男	神経過敏に感じた	42.9	39.7	40.5	51.0	50.6	46.6
	男	絶望的だと感じた	22.3	19.0	21.0	29.9	31.6	27.4
	男	そわそわ、落ち着かなく感じた	33.8	30.4	32.1	41.4	42.1	38.5
	男	気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた	38.0	34.0	36.2	45.9	50.9	42.3
	男	何をしても骨折りだと感じた	40.1	37.1	38.1	47.7	50.9	44.0
	男	自分は価値のない人間だと感じた	21.7	19.7	19.1	26.1	27.2	24.4
	女	(100.0)	(48.0)	(5.2)	(4.0)	(5.7)	(14.7)	
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	女	神経過敏に感じた	50.5	47.9	54.3	58.9	59.5	56.4
	女	絶望的だと感じた	25.7	21.9	31.6	38.0	36.0	30.7
	女	そわそわ、落ち着かなく感じた	36.4	33.5	39.6	46.3	48.2	42.2
	女	気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた	44.7	41.5	47.3	56.6	56.7	51.0
女	何をしても骨折りだと感じた	45.3	42.4	50.4	55.9	57.1	51.1	
女	自分は価値のない人間だと感じた	24.3	21.4	28.7	33.6	34.4	28.0	

注: 1) 第1回から第5回まで配偶者のいる、第5回の過去1か月間に感じたことの各項目について「あり」と回答したものを集計。
 2) 過去1か月間に感じたこと「あり」とは各項目について「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」と回答した者をいう。
 3) ()内の総数には第1回からの配偶者の健康状態の変化の不詳を含む。
 4) ()内を除く数値は、「第1回からの配偶者の健康状態の変化」ごとの男女別の総数を100とした割合である。

3 就業の状況

(1) 就業状況の変化

「60～63歳」の者が第1回調査から仕事をしている割合は、男 70.3%、女 42.9%

第1回調査からの就業状況の変化について、男女別にみると、「第1回から仕事あり」は、男 79.3%、女 51.6%となっており、年齢階級別にみると、「54～59歳」では、男 86.3%、女 58.4%、「60～63歳」では、男 70.3%、女 42.9%となっており、いずれの年齢階級でも男の方が高くなっている。

また、「第1回から仕事なし」は、男 3.2%、女 22.5%となっており、年齢階級別では、「60～63歳」の女の割合が最も高くなっている。

「就業」及び「退職」では、いずれの年齢階級でも女の方が高いが、「退職」の「60～63歳」では、男女の割合の差が小さくなっている。(表7)

表7 性、年齢階級別にみた第1回調査からの就業状況の変化

(単位:%)

	第1回からの就業状況の変化										
	総数		第1回 から 仕事あり	(再掲)		就業	退職	第1回 から 仕事なし	(再掲)		その他
				離職なし	離職あり				離職なし	離職あり	
総数	(100.0)	100.0	64.9	51.1	10.1	3.0	11.2	13.3	11.0	7.5	
54～59歳	(56.3)	100.0	71.8	59.6	8.6	3.1	7.5	10.5	8.7	7.1	
60～63歳	(43.7)	100.0	56.0	40.2	11.9	2.9	16.1	16.8	13.9	8.0	
男	(100.0)	100.0	79.3	62.0	12.5	1.7	9.6	3.2	2.5	6.1	
54～59歳	(56.2)	100.0	86.3	73.0	9.1	1.5	4.8	2.3	1.8	5.0	
60～63歳	(43.8)	100.0	70.3	47.8	16.8	1.9	15.8	4.4	3.5	7.6	
女	(100.0)	100.0	51.6	41.1	7.9	4.2	12.8	22.5	18.8	8.7	
54～59歳	(56.4)	100.0	58.4	47.4	8.2	4.5	9.9	18.0	15.1	8.9	
60～63歳	(43.6)	100.0	42.9	33.1	7.4	3.9	16.4	28.3	23.5	8.3	

注:総数には第1回からの就業状況の変化の不詳を含む。

(2) 離職の状況

定年で離職した者のうち、第5回調査で「仕事をしている」割合は、男 59.8%、女 36.6%

第1回調査以降に「仕事をやめた経験がある」者について、最後にやめた仕事の離職理由を男女別にみると、男では「定年のため」30.2%、「解雇されたから」8.8%、「契約期間が満了したから」8.0%、女では「健康がすぐれなかったから」13.0%、「定年のため」12.2%、「契約期間が満了したから」9.5%となっている。

離職理由別に第5回で「仕事をしていない」割合をみると、「健康がすぐれなかったから」では、男 64.8%、女 67.6%と男女の差は小さい。「定年のため」では、男 40.2%、女 63.2%、「年金を受給し始めたから」では、男 64.7%、女 81.6%と男女の差が大きくなっている。(表8)

離職理由が「定年のため」のうち、第5回で「仕事をしている」割合は、男 59.8%、女 36.6%となっている。仕事のかたちをみると、男では「契約社員・嘱託」24.6%、「正規の職員・従業員」12.6%、「パート・アルバイト」11.5%、女では「パート・アルバイト」18.8%、「契約社員・嘱託」7.6%が多くなっている。(表9)

表8 最後にやめた仕事の離職理由(複数回答)別にみた性、第5回調査の仕事の有無

(単位:%)

	総数(1)	男						女					
		第5回の仕事の有無											
		総数(2)	仕事をしている	仕事をしていない	総数(2)	仕事をしている	仕事をしていない	総数(2)	仕事をしている	仕事をしていない			
最後にやめた仕事の離職理由(複数回答)	総数(3)	(100.0)	100.0	51.6	48.4	(100.0)	100.0	60.0	39.9	(100.0)	100.0	44.1	55.9
	定年のため	(20.6)	100.0	52.5	47.4	(30.2)	100.0	59.8	40.2	(12.2)	100.0	36.6	63.2
	契約期間が満了したから	(8.8)	100.0	52.8	47.2	(8.0)	100.0	57.4	42.6	(9.5)	100.0	49.4	50.6
	希望退職に応じたから	(5.1)	100.0	52.8	47.2	(6.4)	100.0	60.8	39.2	(4.0)	100.0	41.6	58.4
	倒産したから	(3.6)	100.0	62.1	37.9	(3.5)	100.0	68.2	31.8	(3.6)	100.0	56.8	43.2
	解雇されたから	(7.3)	100.0	54.8	45.2	(8.8)	100.0	59.5	40.5	(6.0)	100.0	48.6	51.4
	新しい仕事が見つかったから	(5.0)	100.0	97.2	2.8	(5.1)	100.0	96.2	3.8	(4.9)	100.0	98.0	2.0
	健康がすぐれなかったから	(10.4)	100.0	33.3	66.7	(7.5)	100.0	35.2	64.8	(13.0)	100.0	32.4	67.6
	家族の介護・看護のため	(4.6)	100.0	34.5	65.5	(1.5)	100.0	37.0	63.0	(7.4)	100.0	34.1	65.9
	子・孫の育児のため	(1.1)	100.0	32.6	67.4	(0.1)	100.0	50.0	50.0	(2.1)	100.0	32.2	67.8
	人間関係がうまくいかなかったから	(3.7)	100.0	52.3	47.7	(2.9)	100.0	51.9	48.1	(4.4)	100.0	52.5	47.5
	労働条件が不満になったから	(4.1)	100.0	63.6	36.1	(3.9)	100.0	62.9	36.4	(4.3)	100.0	64.0	36.0
	年金を受給し始めたから	(1.5)	100.0	28.2	71.8	(1.9)	100.0	35.3	64.7	(1.2)	100.0	18.4	81.6
	その他	(14.0)	100.0	59.4	40.6	(11.9)	100.0	71.2	28.8	(15.9)	100.0	51.7	48.3

注:1) 「最後にやめた仕事の離職理由」とは第1回以降に仕事をやめたときの離職理由であり、複数回離職している場合は直近の状況を集計している。

2) 最後にやめた仕事の離職理由「子・孫の育児のため」「人間関係がうまくいかなかったから」「労働条件が不満になったから」「年金を受給し始めたから」は、第4回から追加した選択肢である。

3) 総数(1)は、男女の合計である。

4) 総数(2)は第5回の仕事の有無の合計であり、仕事の有無の不詳を含む。

5) 総数(3)は何らかの離職理由を回答した者と離職理由が不詳の者の合計である。

6) ()内の数値は、第1回以降に「仕事をやめた経験がある」者を100として、それぞれの離職理由(複数回離職している場合は直近の離職の理由)を回答した者の割合である。

表9 最後にやめた仕事の離職理由が「定年のため」の性別にみた第5回調査の仕事の有無・仕事のかたち

(単位:%)

	総数	第5回の仕事の有無・仕事のかたち											
		仕事をしている	自営業主	家族従業員	会社・団体等の役員	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	家庭での内職など	その他	仕事をしていない	
定年のため													
総数	(100.0)	100.0	52.5	4.1	0.4	1.3	10.0	13.8	0.9	19.3	0.1	1.9	47.4
男	(68.7)	100.0	59.8	5.6	0.2	1.8	12.6	11.5	1.0	24.6	0.1	1.7	40.2
女	(31.3)	100.0	36.6	0.8	1.0	-	4.2	18.8	0.6	7.6	0.2	2.4	63.2

注:1) 「最後にやめた仕事の離職理由」とは第1回以降に仕事をやめたときの離職理由であり、複数回離職している場合は直近の状況を集計している。

2) 総数には第5回の仕事の有無・仕事のかたちの不詳を含む。

(3) 就業希望と求職の状況

仕事をしていない「60～63歳」の者のうち、就業を希望する割合は33.5%

第5回調査の「仕事をしていない」者について、就業希望と求職活動の有無を年齢階級別にみると、「仕事をしたい」割合は、「54～59歳」で42.3%、「60～63歳」で33.5%となっている。また、「仕事をしたくない」割合は、「54～59歳」で54.8%、「60～63歳」で64.0%となっている。

「仕事をしたい」が仕事探しや開業準備などを「何もしていない」割合は、「54～59歳」で22.8%、「60～63歳」で18.6%となっており、何もしていない理由別にみると、「54～59歳」、「60～63歳」ともに「病気・けがのため」が最も多くなっているが、「60～63歳」では「希望する仕事がありそうにない」が次に多くなっている。

(表10)

表10 年齢階級別にみた第5回調査の就業希望の有無・求職活動の有無・求職活動をしていない理由 (単位:%)

		総数	54～59歳	60～63歳
第5回調査の求職活動の有無・希望・求職活動をしていない理由	総数	100.0	100.0	100.0
	仕事をしたい	37.2	42.3	33.5
	仕事探し・開業準備をしている	15.7	18.4	13.8
	仕事を探している	15.0	17.2	13.5
	開業の準備をしている	0.7	1.2	0.4
	何もしていない	(100.0)	20.4	(100.0)
	探したが見つからなかった	(15.0)	3.0	(13.6)
	希望する仕事がありそうにない	(14.4)	2.9	(11.8)
	知識・能力に自信がない	(5.7)	1.2	(6.5)
	病気・けがのため	(19.4)	4.0	(19.3)
	高齢のため	(4.7)	0.9	(2.4)
	家事や育児のため	(7.4)	1.5	(7.2)
	家族の介護・看護のため	(12.8)	2.6	(18.0)
	急いで仕事に就く必要がない	(11.7)	2.4	(11.8)
	その他	(8.1)	1.7	(8.9)
仕事をしたくない	60.2	54.8	64.0	

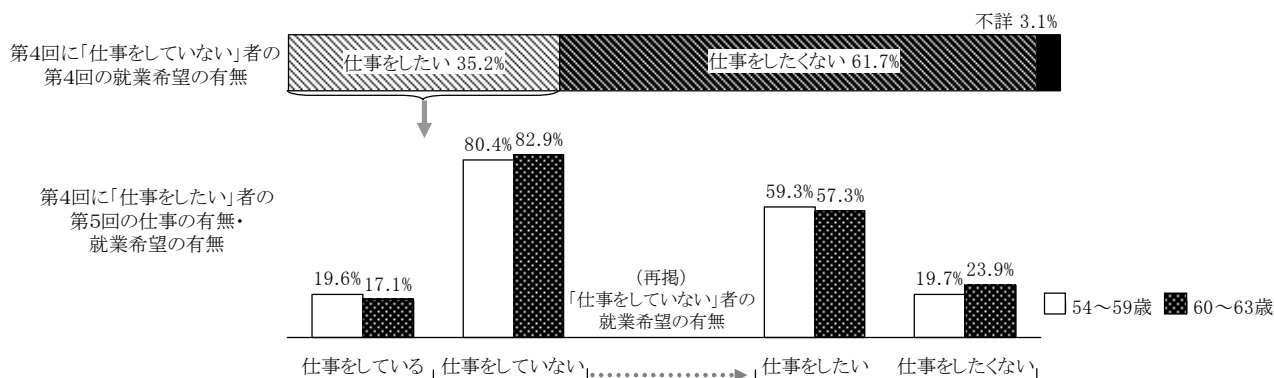
注: 1) 第5回に「仕事をしていない」者について集計。
2) 総数には第5回就業希望の有無・求職活動の有無の不詳を含む。

第4回調査で就業を希望していたが第5回調査で「仕事をしていない」者の就業を希望する割合は「54～59歳」、「60～63歳」とともに5割以上

第4回調査で「仕事をしていない」者のうち、「仕事をしたい」割合は35.2%となっており、これらの者について第5回調査の仕事の有無をみると、「仕事をしている」では、「54～59歳」19.6%、「60～63歳」17.1%、「仕事をしていない」では、「54～59歳」80.4%、「60～63歳」82.9%となっている。

第4回で就業を希望していたが、第5回で「仕事をしていない」者について就業希望の有無をみると、「仕事をしたい」は、「54～59歳」59.3%、「60～63歳」57.3%となっている。(図3)

図3 第4回調査で「仕事をしていない」者の第5回調査の仕事の有無、就業希望の有無



注: 第4回に「仕事をしていない」者について集計。

4 「60～63歳」の者の生活の状況

(1) 収入の状況

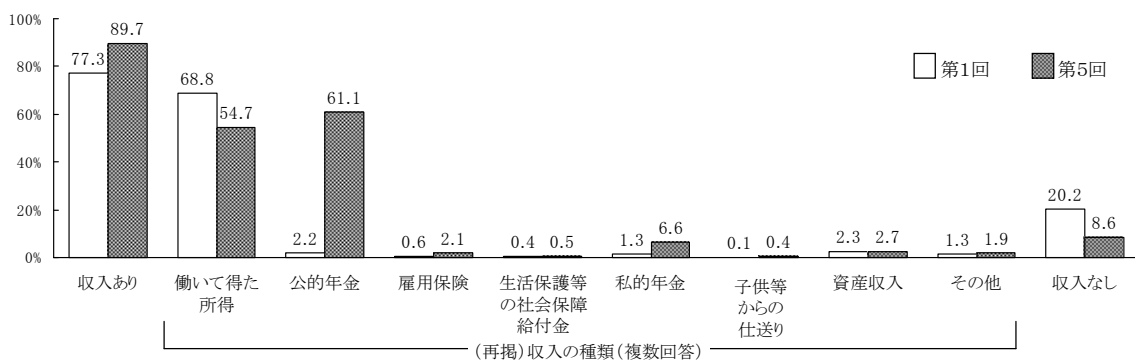
第1回調査「収入なし」から第5回調査「収入あり」に変化した者の第5回調査の収入の種類をみると、男女とも「公的年金」の割合が高い

1か月間の収入の状況について、第1回調査と第5回調査の変化をみると、「収入あり」は、第1回 77.3%、第5回 89.7%、「収入なし」は、第1回 20.2%、第5回 8.6%となっている。

収入の種類別に、第1回と第5回を比較すると、「働いて得た所得」では、第1回 68.8%、第5回 54.7%と減少しており、「公的年金」では、第1回 2.2%、第5回 61.1%と増加している。(図4)

第1回から第5回の収入の変化をみると、第1回「収入なし」から第5回「収入あり」に変化した割合は、男 82.3%、女 70.2%となっている。第1回「収入なし」から第5回「収入あり」に変化した者の第5回の収入の種類をみると、「公的年金」が男 68.4%、女 61.4%と、男女とも公的年金の割合が高くなっている。(表 11)

図4 「60～63歳」の者の第1回調査及び第5回調査の収入の有無・収入の種類(複数回答)



注: 1) 「60～63歳」の者を集計。
2) 「60～63歳」の者を100とした割合である。

表 11 「60～63歳」の者の性、第1回調査の収入の有無別にみた第5回調査の収入の有無・収入の種類(複数回答)

(単位: %)

		第5回の収入の有無・収入の種類(複数回答)					
		総数	収入あり	(再掲) 働いて得た所得	(再掲) 公的年金	収入なし	
性、 第1回 の 収入 の有 無	60～63歳 総数	(100.0)	100.0	89.7	54.7	61.1	8.6
	収入あり	(77.3)	100.0	94.7	65.9	61.2	4.1
	収入なし	(20.2)	100.0	72.2	13.2	62.6	25.1
	男	(100.0)	100.0	95.4	67.3	59.5	3.3
	収入あり	(90.9)	100.0	96.5	70.8	59.1	2.5
	収入なし	(6.8)	100.0	82.3	26.0	68.4	14.6
	女	(100.0)	100.0	84.4	43.0	62.6	13.5
	収入あり	(64.8)	100.0	92.3	59.6	63.9	6.3
	収入なし	(32.6)	100.0	70.2	10.7	61.4	27.1

注: 1) 「60～63歳」の者を集計。
2) 総数には第1回の収入の有無及び第5回の収入の有無の不詳を含む。

(2) 公的年金受給の状況と仕事の状況

第5回調査に公的年金を受給している者のうち、仕事をしている割合は、男 71.9%、女 48.2%

第5回調査の公的年金受給の状況をみると、「受給している」61.1%、「受給していない」36.4%となっている。公的年金受給の有無別に仕事の有無をみると、公的年金を受給していて「仕事をしている」割合は、男 71.9%、女 48.2%となっている。仕事のかたち別にみると、男では「契約社員・嘱託」19.7%、「自営業主」18.3%、女では「パート・アルバイト」23.0%、「家族従業者」5.8%が多くなっている。

公的年金を受給していないで「仕事をしている」割合は、男 87.4%、女 56.9%となっており、いずれも公的年金を受給していて「仕事をしている」割合に比べて高くなっている。仕事のかたち別にみると、男では「正規の職員・従業員」27.2%、「自営業主」26.3%、女では「パート・アルバイト」21.3%、「家族従業者」11.1%が多くなっている。(表 12)

公的年金を受給していて「仕事をしている」者について、同居者の構成をみると、男では「三世帯世帯」78.1%、「親なし子ありの世帯」72.7%、「夫婦のみの世帯」71.7%、女では「単独世帯」56.2%、「親なし子ありの世帯」49.2%、「三世帯世帯」48.7%となっている(表 13)。

表 12 「60～63 歳」の者の性、第5回調査の公的年金受給の有無別にみた
第5回調査の仕事の有無・仕事のかたち

		第5回の仕事の有無・仕事のかたち (単位:%)														
		総数	第5回の仕事の有無・仕事のかたち											仕事を していない		
			仕事をして いる	自営業主	家族 従業者	会社・ 団体等の 役員	正規の 職員・ 従業員	パート・ アルバイト	労働者 派遣 事業所の 派遣社員	契約社員・ 嘱託	家庭での 内職など	その他				
受給、 第5 回の 公的 年金	60～63歳															
	総数	(100.0)	100.0	64.1	13.5	4.3	4.2	12.2	16.0	0.6	10.4	0.7	2.0	35.9		
	受給している	(61.1)	100.0	59.3	11.2	3.3	2.4	9.1	17.9	0.6	11.8	0.7	1.9	40.7		
	受給していない	(36.4)	100.0	72.3	17.4	5.9	7.2	17.4	12.7	0.5	8.3	0.6	2.0	27.7		
	男	(100.0)	100.0	77.9	21.4	0.6	6.9	19.2	9.0	0.9	17.2	0.1	2.2	22.1		
	受給している	(59.5)	100.0	71.9	18.3	0.5	3.5	14.1	12.2	1.0	19.7	0.1	2.2	28.1		
	受給していない	(38.2)	100.0	87.4	26.3	0.8	11.9	27.2	4.3	0.8	13.5	0.2	2.2	12.6		
	女	(100.0)	100.0	51.4	6.2	7.8	1.8	5.6	22.4	0.3	4.1	1.1	1.7	48.5		
	受給している	(62.6)	100.0	48.2	4.9	5.8	1.4	4.7	23.0	0.3	4.8	1.2	1.7	51.8		
	受給していない	(34.7)	100.0	56.9	8.3	11.1	2.3	7.5	21.3	0.3	2.9	1.0	1.7	43.1		

注:1)「60～63歳」の者を集計。
2)総数には第5回の公的年金受給の有無及び第5回の仕事の有無・仕事のかたちの不詳を含む。

表 13 「60～63 歳」の者の第5回調査の公的年金受給の有無、同居者の構成別にみた
性、第5回調査の仕事の有無

		第5回の仕事の有無 (単位:%)											
		総数			男			女					
		総数	仕事を している	仕事を していない	総数	仕事を している	仕事を していない	総数	仕事を している	仕事を していない			
同居者 の 構成 の 公的 年金 受給 の有 無、	60～63歳												
	受給している	(100.0)	100.0	59.3	40.7	(100.0)	100.0	71.9	28.1	(100.0)	100.0	48.2	51.8
	単独世帯	(8.8)	100.0	58.0	42.0	(7.4)	100.0	60.8	39.2	(10.1)	100.0	56.2	43.8
	夫婦のみの世帯	(34.7)	100.0	57.4	42.6	(33.1)	100.0	71.7	28.3	(36.2)	100.0	45.9	54.1
	三世帯世帯	(16.3)	100.0	63.3	36.7	(17.4)	100.0	78.1	21.9	(15.4)	100.0	48.7	51.3
	親あり子なしの世帯	(8.8)	100.0	59.1	40.9	(10.3)	100.0	70.3	29.7	(7.4)	100.0	45.4	54.6
	親なし子ありの世帯	(29.5)	100.0	60.5	39.4	(30.3)	100.0	72.7	27.3	(28.7)	100.0	49.2	50.7
	その他の世帯	(1.4)	100.0	47.1	52.9	(1.2)	100.0	58.1	41.9	(1.6)	100.0	39.3	60.7
	受給していない	(100.0)	100.0	72.3	27.7	(100.0)	100.0	87.4	12.6	(100.0)	100.0	56.9	43.1
	単独世帯	(6.7)	100.0	72.5	27.5	(7.3)	100.0	74.1	25.9	(6.1)	100.0	70.7	29.3
	夫婦のみの世帯	(33.3)	100.0	68.1	31.9	(30.1)	100.0	89.2	10.8	(36.5)	100.0	50.3	49.7
	三世帯世帯	(17.0)	100.0	79.7	20.3	(19.0)	100.0	89.8	10.2	(14.9)	100.0	66.7	33.3
	親あり子なしの世帯	(9.0)	100.0	72.7	27.3	(9.6)	100.0	83.1	16.9	(8.4)	100.0	60.7	39.3
	親なし子ありの世帯	(32.3)	100.0	72.9	27.1	(32.6)	100.0	89.3	10.7	(32.0)	100.0	55.8	44.2
その他の世帯	(1.2)	100.0	69.8	30.2	(1.3)	100.0	71.4	28.6	(1.2)	100.0	68.0	32.0	

注:1)「60～63歳」の者を集計。
2)総数には第5回の公的年金受給の有無、同居者の構成及び第5回の仕事の有無の不詳を含む。

(3) 社会参加活動の変化

第1回調査から「趣味・教養」の活動をしている割合は 32.1%

第1回調査からの社会参加活動の変化をみると、第1回から「趣味・教養」の活動をしている割合は 32.1%となっており、「スポーツ・健康」では 21.5%、「地域行事」では 9.2%となっている。

また、「活動「なし」から「あり」に変化」している割合は、すべての項目で総数に比べて退職者の方が高くなっている。(表 14)

表 14 「60～63 歳」の者の第1回調査からの社会参加活動の変化

(単位:%)

		総数	(再掲) 退職者
第 1 回 か ら の 社 会 参 加 活 動 の 変 化	60～63歳	100.0	100.0
	趣味・教養		
	第1回から活動あり	32.1	32.4
	活動「なし」から「あり」に変化	9.8	11.8
	活動「あり」から「なし」に変化	6.1	6.4
	第1回から活動なし	8.6	6.6
	その他	26.3	26.6
	スポーツ・健康		
	第1回から活動あり	21.5	20.8
	活動「なし」から「あり」に変化	10.4	16.8
	活動「あり」から「なし」に変化	6.2	5.1
	第1回から活動なし	20.0	15.8
	その他	24.0	25.7
	地域行事		
	第1回から活動あり	9.2	7.8
	活動「なし」から「あり」に変化	9.4	10.6
	活動「あり」から「なし」に変化	5.8	5.9
	第1回から活動なし	33.5	33.6
	その他	24.2	25.7
	子育て支援・教育・文化		
	第1回から活動あり	0.5	0.2
	活動「なし」から「あり」に変化	1.8	2.0
	活動「あり」から「なし」に変化	1.6	1.3
	第1回から活動なし	69.5	72.0
	その他	5.2	4.5
	高齢者支援		
	第1回から活動あり	0.5	0.3
活動「なし」から「あり」に変化	2.8	3.1	
活動「あり」から「なし」に変化	2.0	1.5	
第1回から活動なし	65.5	66.3	
その他	8.4	9.3	
その他の社会参加活動			
第1回から活動あり	1.6	1.0	
活動「なし」から「あり」に変化	4.8	5.9	
活動「あり」から「なし」に変化	2.6	2.4	
第1回から活動なし	55.5	57.3	
その他	14.0	13.2	

注: 1) 「60～63歳」の者を集計。

2) 退職者とは、第1回に仕事をしていて、第5回までに「仕事なし」となった者をいう。

3) 総数には第1回からの社会参加活動の変化の不詳を含む。

4) 「60～63歳」の者の総数及び退職者を100とした割合である。

(4) 60歳以降の仕事と生活のまかない方

第1回調査時に「60歳以降「仕事をしたい」と希望していた者のうち、第5回調査時に「仕事をしている」者は77.5%

第1回調査時に、60歳以降(60～64歳)の就業希望について回答した結果と、第5回調査の仕事の有無をみると、60歳以降「仕事をしたい」と希望していた者のうち、第5回で「仕事をしている」割合は77.5%となっている。また、60歳以降「仕事をしたくない」と希望していた者のうち、第5回で「仕事をしていない」割合は71.5%となっており、「仕事をしている」割合は28.5%となっている。

60歳以降に希望していた仕事のかたちと、第5回の仕事のかたちをみると、希望していた仕事のかたちが「自営業主」では、第5回の仕事のかたち「自営業主」が66.3%となっている。「雇われて働く(フルタイム)」では、「正規の職員・従業員」が33.5%、「契約社員・嘱託」が24.5%となっている。また、「雇われて働く(パートタイム)」では、「パート・アルバイト」が41.7%となっている。(表15)

表15 「60～63歳」の者の第1回調査の60歳以降(60～64歳)の就業希望別にみた第5回調査の仕事の有無・仕事のかたち

(単位:%)

		第5回の仕事の有無・仕事のかたち												
		総数	仕事をしている	自営業主	家族従業者	会社・団体等の役員	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	家庭での内職など	その他	仕事をしていない	
第1回の60歳以降(60～64歳)の就業希望の有無・希望する仕事のかたち(複数回答)	60～63歳													
	総数	(100.0)	100.0	64.1	13.5	4.3	4.2	12.2	16.0	0.6	10.4	0.7	2.0	35.9
	仕事をしたい	(71.2)	100.0	77.5	17.1	5.1	5.2	14.9	18.8	0.7	12.5	0.8	2.1	22.4
	自営業主	(15.2)	100.0	91.9	66.3	4.9	6.4	4.6	3.2	0.3	3.8	0.2	2.0	8.1
	家業の手伝い	(5.3)	100.0	84.0	14.5	47.0	6.1	4.2	8.4	0.5	1.6	0.6	0.9	16.0
	家庭での内職など	(2.4)	100.0	50.7	2.4	3.1	-	3.8	19.0	-	4.1	15.2	2.4	49.3
	雇われて働く(フルタイム)	(16.1)	100.0	82.9	2.5	0.2	5.9	33.5	12.7	1.3	24.5	0.1	1.9	17.1
	雇われて働く(パートタイム)	(20.6)	100.0	69.3	1.5	1.0	1.2	9.4	41.7	0.7	11.5	0.4	1.4	30.7
	近所の人や会社に頼まれて任意に行う仕事	(6.0)	100.0	68.4	5.8	1.5	5.4	16.4	16.6	1.0	17.5	0.7	3.3	31.6
	有償型の社会参加活動	(3.4)	100.0	60.1	4.2	1.7	6.4	12.0	14.2	1.5	15.2	0.5	4.2	39.9
	その他のかたち	(3.8)	100.0	70.3	7.6	3.9	13.0	15.8	13.2	0.4	11.0	0.4	5.0	29.7
まだ考えていない	(5.2)	100.0	70.5	6.7	2.1	6.3	21.1	14.0	1.1	15.6	0.5	2.9	29.4	
仕事はしたくない	(24.8)	100.0	28.5	3.2	2.1	1.9	5.3	8.4	0.2	5.1	0.3	1.3	71.5	

注:1)「60～63歳」の者を集計。

2)総数には第1回の60歳以降(60～64歳)の就業希望の有無及び第5回の仕事の有無・仕事のかたちの不詳を含む。

3)()内の数値は、「60～63歳」の者を100とした割合である。

第1回調査時に60歳以降の生活を、主に「働いて得た所得(本人)」でまかなうつもりだった者のうち、第5回調査時の収入の中に「働いて得た所得」がある割合は70.8%

第1回調査時に、60歳以降(60～64歳)の生活のまかない方について回答した結果と、第5回調査の1か月間の収入の状況をみると、60歳以降の生活を、主に「働いて得た所得(本人)」でまかなうつもりだった者のうち、第5回の収入の中に「働いて得た所得」がある割合は70.8%、「公的年金」は59.8%となっている。

また、60歳以降の生活を、主に「公的年金」でまかなうつもりだった者のうち、第5回の収入の中に「公的年金」がある割合は72.2%となっている。(表16)

表16 「60～63歳」の者の第1回調査の60歳以降(60～64歳)の生活のまかない方別にみた第5回調査の収入の状況

(単位:%)

		第5回の収入の有無・収入の種類(複数回答)										収入なし	
		総数	収入あり	働いて得た所得	公的年金	雇用保険	生活保護等の社会保障給付金	私的年金	子供等からの仕送り	資産収入	その他		
第1回の60歳以降(60～64歳)の生活のまかない方(主なもの3つまで)	60～63歳												
	総数	(100.0)	100.0	89.7	54.7	61.1	2.1	0.5	6.6	0.4	2.7	1.9	8.6
	働いて得た所得(本人)	(52.5)	100.0	95.4	70.8	59.8	2.5	0.3	6.4	0.5	2.9	1.8	3.5
	働いて得た所得(配偶者)	(22.5)	100.0	82.2	42.4	60.2	0.9	0.0	5.7	0.3	1.8	1.7	16.7
	働いて得た所得(その他の同居人)	(2.1)	100.0	85.7	41.7	62.2	1.2	1.5	6.2	1.2	1.9	2.7	13.5
	資産収入	(4.2)	100.0	91.0	50.2	55.9	1.8	0.2	12.1	-	28.9	5.9	7.2
	預貯金の取り崩し	(23.2)	100.0	89.5	45.1	67.7	2.3	0.2	8.5	0.5	2.8	2.1	9.6
	退職金	(19.9)	100.0	92.9	50.9	69.5	4.0	0.1	10.5	0.1	2.5	2.0	6.3
	公的年金	(39.4)	100.0	91.0	46.5	72.2	2.1	0.5	8.3	0.5	3.1	2.3	7.7
	私的年金	(14.1)	100.0	91.2	46.0	67.4	1.9	0.2	22.9	0.4	4.2	3.5	7.8
親族等からの仕送り	(0.3)	100.0	81.1	32.4	64.9	-	2.7	-	8.1	-	5.4	16.2	
その他	(5.3)	100.0	88.8	51.5	56.0	2.2	3.4	4.5	0.8	1.9	3.3	9.8	

注:1)「60～63歳」の者を集計。

2)総数には第5回の収入の有無の不詳を含む。

3)()内の数値は、「60～63歳」の者を100とした割合である。

参 考

参考 1

各図表の集計客体数は、以下のとおり。

図表番号	集計対象	客体数		
		総数	男	女
下記以外の図表	第1回から第5回まで回答した者	27 591	13 215	14 376
	54～59歳	15 530	7 421	8 109
	60～63歳	12 061	5 794	6 267
図2、表6	第1回から第5回まで配偶者がいる者	23 264	11 398	11 866
表8	第1回から第5回までに仕事をやめた経験がある者※注	7 745	3 634	4 111
表9	第1回から第5回までに仕事を「定年でやめた」者※注	1 596	-	-
表10	第5回に仕事をしていない者	7 489	-	-
	54～59歳	3 164	-	-
	60～63歳	4 325	-	-
	「仕事をしたい」が仕事探しや開業準備などを「何もしていない」者	1 525	-	-
	54～59歳	721	-	-
	60～63歳	804	-	-
図3	第4回に仕事をしていない者	6 454	-	-
	第4回に「仕事をしたい」者	2 273	-	-
	54～59歳	1 124	-	-
	60～63歳	1 149	-	-
表13	「60～63歳」の者で公的年金を「受給している」者	7 375	3 450	3 925
	「60～63歳」の者で公的年金を「受給していない」者	4 387	2 215	2 172
表14	「60～63歳」の退職者	1 941	-	-

注：第1回から第5回までに複数回の仕事をやめた経験がある者については、直近の状況のみ計上している。

参考 2

図に掲載した項目の構成割合は、以下のとおり。

図2 第1回調査からの配偶者の健康状態の変化別にみた第5回調査の過去1か月間に感じたこと

(単位:%)

		第1回からの配偶者の健康状態の変化					その他の変化
		総数	第1回からずっと「よい」	「わるい」から「よい」に変化	第1回からずっと「わるい」	「よい」から「わるい」に変化	
第5回の過去1か月間に感じたこと	総数	(100.0)	(49.2)	(4.6)	(3.8)	(5.5)	(14.4)
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	神経過敏に感じた	46.8	43.8	48.3	55.3	55.3	51.7
	絶望的だと感じた	24.0	20.4	27.0	34.4	33.9	29.1
	そわそわ、落ち着かなく感じた	35.1	32.0	36.4	44.1	45.3	40.4
	気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じた	41.5	37.7	42.5	51.8	54.0	46.8
	何をするのも骨折りだと感じた	42.7	39.7	45.1	52.2	54.2	47.7
	自分は価値のない人間だと感じた	23.0	20.5	24.5	30.2	31.0	26.3

- 注: 1) 第1回から第5回までに配偶者のいる、第5回の過去1か月間に感じたことの各項目について「あり」と回答したものを集計。
 2) 過去1か月間に感じたこと「あり」とは各項目について「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」と回答した者をいう。
 3) ()内の総数には第1回からの配偶者の健康状態の変化の不詳を含む。
 4) ()内を除く数値は、「第1回からの配偶者の健康状態の変化」ごとの総数を100とした割合である。

図3 第4回調査で「仕事をしていない」者の第5回調査の仕事の有無、就業希望の有無

(単位:%)

		第5回の仕事の有無、就業希望の有無						
		総数	仕事をしている	仕事をしていない	仕事をしたい	仕事をしたくない	不詳	
年齢階級、第4回の就業希望の有無	第4回に仕事をしていない者	(100.0)	100.0	10.8	89.2	27.3	59.9	2.0
	仕事をしたい	(35.2)	100.0	18.3	81.7	58.3	21.8	1.6
	仕事をしたくない	(61.7)	100.0	5.7	94.3	9.8	82.9	1.6
	不詳	(3.1)	100.0	27.0	73.0	23.5	33.5	16.0
	54～59歳	(100.0)	100.0	12.7	87.3	31.2	54.2	1.9
	仕事をしたい	(40.5)	100.0	19.6	80.4	59.3	19.7	1.4
	仕事をしたくない	(56.1)	100.0	6.5	93.5	11.1	80.8	1.6
	不詳	(3.3)	100.0	32.6	67.4	29.3	25.0	13.0
	60～63歳	(100.0)	100.0	9.4	90.6	24.3	64.1	2.1
	仕事をしたい	(31.2)	100.0	17.1	82.9	57.3	23.9	1.7
	仕事をしたくない	(65.9)	100.0	5.2	94.8	9.0	84.2	1.5
	不詳	(2.9)	100.0	22.2	77.8	18.5	40.7	18.5

注: 第4回に「仕事をしていない」者について集計。

用語の定義

「調査年」

「第1回」～「第5回」とは、それぞれの回の調査で把握した項目で、各調査年は次のとおり。

第1回(第1回調査) 平成17年

第2回(第2回調査) 平成18年

第3回(第3回調査) 平成19年

第4回(第4回調査) 平成20年

第5回(第5回調査) 平成21年

「配偶者」「夫婦」

事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。

「同居者の構成」

同居している者の続柄から分類している。「単独世帯」「夫婦のみの世帯」以外は、兄弟姉妹やその他の親族がいる場合を含む。親には配偶者の親も含む。

「単独世帯」

配偶者の有無を問わず、本人以外に同居者がいない場合

「夫婦のみの世帯」

本人と配偶者以外に同居者がいない場合

「三世帯世帯」

本人が親・子と同居している、本人が子・孫と同居している、または子の有無を問わず本人が親・孫と同居している場合

「親あり子なしの世帯」

本人と親が同居していて、子がない場合

「親なし子ありの世帯」

本人と子が同居していて、親がない場合

「その他の世帯」

上記以外

介護をしている状況

「第1回から介護をしている」

第1回から第5回まで、調査時に介護を「している」と回答した場合をいう。

「介護を「していない」から「している」に変化」

第1回に介護を「していない」者のうち、第5回までに介護を「している」となった場合をいう。第2回で介護を「している」、第3回に「していない」と回答した場合は、介護の状況「その他」として

「介護を「している」から「していない」に変化」

第1回に介護を「している」者のうち、第5回までに介護を「していない」となった場合をいう。第2回で介護を「していない」、第3回で「している」と回答した場合は、介護の状況「その他」として

「第1回から介護をしていない」

第1回から第5回まで、調査時に介護を「していない」と回答した場合をいう。

「仕事をしている」

ふだん収入になる仕事をしていて、今後も仕事をしていくことになっている場合をいう。

「仕事をしていない」

パート・アルバイト、内職等も全くしていない場合をいう。

運動状況

「第1回から運動している」

第1回から第5回まで、調査時に運動の有無「あり」と回答した場合をいう。

「運動「なし」から「あり」に変化」

第1回に運動の有無「なし」の者のうち、第5回までに運動の有無「あり」となった場合をいう。第2回で運動の有無「あり」、第3回で運動の有無「なし」と回答した場合は、運動状況「その他」として

「運動「あり」から「なし」に変化」

第1回に運動の有無「あり」の者のうち、第5回までに運動の有無「なし」となった場合をいう。第2回で運動の有無「なし」、第3回で運動の有無「あり」と回答した場合は、運動状況「その他」として

「第1回から運動していない」

第1回から第5回まで、調査時に運動の有無「なし」と回答した場合をいう。

就業状況

「第1回から仕事あり」

第1回から第5回まで、調査時に「仕事をしている」と回答した場合をいう。仕事をやめた後、別の仕事に就いている場合を含む。

「就業」

第1回に「仕事をしていない」者のうち、第5回までに「仕事をしている」となった場合をいう。第2回で「仕事をしている」、第3回に「仕事をしていない」と回答した場合は、就業状況「その他」としている。

「退職」

第1回に「仕事をしている」者のうち、第5回までに「仕事をしていない」となった場合をいう。第2回で「仕事をしていない」、第3回で「仕事をしている」と回答した場合は、就業状況「その他」としている。

「第1回から仕事なし」

第1回から第5回まで、調査時に「仕事をしていない」と回答した場合をいう。前回の調査から次の調査までの間に仕事に就いて、調査日までに仕事をやめた場合を含む。

「離職」

調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験をいい、仕事をやめた後、現在別の仕事に就いている場合を含む。

仕事のかたち

「自営業主」

個人経営の商店主・工場主・農業主等の事業主や開業医・弁護士・著述家・行商従事者等をいう。

なお、法人組織(株式・合資・合名の各会社)になっている商店の経営者の場合は、「会社・団体等の役員」としている。

「家族従業者」

農家や個人商店等で農作業や店の仕事等を手伝っている家族をいう。

「会社・団体等の役員」

会社の社長・取締役・監査役、団体の理事(長)・監事、公団や事業団の総裁・理事等をいう。

なお、部長、課長等のいわゆる管理職の場合は、理事等の役員になっていなければ、含まれない。

「正規の職員・従業員」

会社・団体・官公庁・個人商店等に雇用期間の定めなく雇われている人をいう。

「パート・アルバイト」

就業時間や日数に関係なく、勤務先で「パートタイマー」「アルバイト」または、それらに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「労働者派遣事業所の派遣社員」

労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいう。

「契約社員・嘱託」

専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用されている人や雇用期間の定めのある人、労働条件や契約期間に関係なく、勤務先で「嘱託職員」または、それに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「家庭での内職など」

家庭で賃仕事をしている人をいう。

「その他」

仕事のかたち「自営業主」～「家庭での内職など」以外をいう。

「1か月間の収入」

「働いて得た所得」「公的年金」「雇用保険」「生活保護等の社会保障給付金」「私的年金」「子供等からの仕送り」「資産収入」「その他」の合計(税込み)であり、ボーナスや財産の売却代、預貯金を引き出した場合、生命保険・損害保険からの受取金などは含めない。

「社会参加活動」

趣味・教養、スポーツ、地域行事、ボランティアや高齢者支援などの活動をいう。

「60歳以降(60～64歳)の就業希望の有無・希望する仕事のかたち」

第1回に、60歳以降いつまで収入を伴う仕事をしたいかについて、「可能な限り仕事をしたい」、「一定の年齢まで仕事をしたい」と回答した者が、「60～64歳」「65歳以上」の年齢区分ごとに希望している仕事のかたちで、複数回答による。今回の集計は「60～64歳」の年齢区分の回答を使用した。

「60歳以降(60～64歳)の生活のまかない方」

第1回に、60歳以降の生活のための収入として、「60～64歳」「65～69歳」「70歳以降」の年齢区分ごとに選択した主な3つをいう。今回の集計では「60～64歳」の年齢区分の回答を使用した。